

# えがお

発行日/2014.4.1

No. 98

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

<https://www.facebook.com/kama.swc>



千手小学校



宮野小学校



宮野の樹

嘉穂地区 5 小学校閉校

たくさんさんの思い出を胸に



泉河内小学校



嘉麻市立足白小学校閉校記念式典



足白小学校



大隈小学校



## 26人が市民後見人養成講座を修了



▲認知症の方が土地を売却する事例を考えました。

最後の講義は、本会の木山事務局長が担当し、26講座全てのカリキュラムの振り返りと事例検討を行いました。5つのグループに分かれ、今までのテキストを読み返し、ながら、申立て時の事例を一緒に考えることで講座の成果をそれぞれが確かめました。

休憩をはさみ、いよいよ修了式です。今回の修了生は26名で市内の方だけでなく、桂川町、飯塚市、田川市の方もおられました。最初に、嘉麻市高齢者介護課の松岡一彦

2月26日(火)、平成25年度嘉麻市市民後見人養成講座の最後の講義と修了式を稲築住民センターで行いました。

市民後見人の活動は、同じ地域に暮らす住民として、きめ細やかな支援ができることが特徴です。現在、県内に市民が後見人となっているケースはありませんが、その一歩となることができますように、修了生のみなさんとともに地域で支える仕組みづくりを行っていきます。

課長が挨拶をされ、成年後見制度の担い手が誕生したことに期待の言葉を述べられました。この後、修了証の授与を行い、村上曙生会長がお一人お一人に修了証を手渡し、3か月に及んだ基礎講座が終わりました。



## 成年後見制度 Q&A

成年後見制度とは、知的障がいや精神障がい、認知症などで、判断能力が不十分な方が、社会で不利益や被害を受けることがないように権利を守るためのものです。保護するだけでなく、本人の自己決定を尊重しながら支援することができます。

このコーナーをとおして、少しずつ制度について学んでいきたいと思えます。

Q. 法定後見制度は「後見」、「保佐」、「補助」の3つに分かれています。違いは何でしょうか？

A. 本人の判断能力の程度によって区分され、違いは下記のとおりです。

### ① 後見とは・・・

日常生活に必要な買物ができないなど、自己の財産を管理することができない人が対象で、成年後見人が代わって支援をします。

### ② 保佐とは・・・

不動産の売却、賃貸借、自動車の購入、金銭の貸借等の重要な行為などができず、自己の財産を管理するには常に援助が必要な人が対象で、保佐人が支援をします。

### ③ 補助とは・・・

②の行為はできるかもしれないが、自信がなく、自己の財産を管理するには援助が必要な場合がある人が対象で、補助人が支援をします。

# 大隈小学校の思い出を胸に、、、



2月23日(日)、大隈小学校体育館で、思い出をみんなで共有するメモリアルイベントが行われました。児童や教職員の方だけでなく、卒業生や地域の方など小学校にゆかりのある方たちと一緒に、大隈小学校の歴史を映像で振り返ったり、参加者全員で大合唱をしたりして、楽しい時間を過ごしました。

このイベントを主催したのは、大隈小学校メモリアル実行委員会、新旧PTA評議員や学校区行政区長会、歴代PTA会長などがメンバーです。140年という長い歴史に幕を閉じることを寂しく感じるのではなく、新たな一歩を踏み出すことを楽しもうと3年前から虹のアートや風船飛ばしなど児童とともに閉校までのカウントダウンイベントをしてきました。

最後に、体育館に飾られた児童全員の手形のクスノキに向かって、実行委員長荻原宏樹おきはろむきさんの声かけに合わせ、感謝の気持ちを込めて手を振りました。児童だけでなく、会場のみなさんがすがすがしい笑顔をされていました。記念品として児童へは校歌のメロディを奏でるオルゴールがプレゼントされました。やさしい音色が小学校を思い出させてくれることでしょう。



## ふれあい・いきいきサロンにおじゃましました

No.18

### 鴨生北町ふれあい・いきいきサロン



「ようできちょうねえ」と隣の作品に見入る方、「孫にプレゼントしようかね」

鴨生北町ふれあい・いきいきサロンは、年に5回、集会所で開催されています。特徴は、高齢者だけでなく、どなたでも参加できるということで、『学ぶ』『体を動かす』『食べる』の3つの要素を意識してプログラムが作られていて、笑い声の絶えない、とても賑やかなサロンです。

2月14日(日)には、造花を使ったフラワーアレンジメントにチャレンジしました。使用する造花を選んで、アレンジメントの始まりです。作業中のみなさんの表情は真剣そのもので、挿す位置や花の向き、長さを何度も変えたり、時にはお互いにアドバイスしあいながら、1時間程度で、オリジナルのアレンジメントが完成しました。



▲自分の好みの花を丁寧に挿していきます

と満足げに自分の作品を見つめる方もおられました。また、「久しぶりにこんなに集中したばい。今日は手も頭もよく使った」と言われる方もおられ、この作業が手先や頭の運動にもつながっているようでした。

梅永昭江区長は、「毎回楽しみにしてくれている人がたくさんいます。でも、高齢化で参加者が減ってきていることに寂しさを感じます。」と話されました。

行政区内の人であればどなたでも参加できますので、一緒に楽しい時間を過ごされませんか。

# ホッと安心していられる居場所 ～子どもの居場所『ハッピービバーク』を視察



月に一度開催している『ひきこもり家族の集い』には、主に4組5名の方が参加され、今抱えている不安や心配ことを話す場になっています。

その中で、気兼ねなく過ごせるところがあれば、子どもたちも外に出るきっかけになるのではという思いが語られ、居場所があることの大切さを強く感じています。

そこで、佐賀市で不登校の親の会「ほっとケーキ」が運営している『子ども居場所ハッピービバーク』を、三月十四日

『バーク』を、三月十四日(金)、本会職員3名で見学をしました。

代表の山口由美子さんは、平成12年に起きた西鉄バスジャック事件の被害者の一人で、加害者の少年がいじめや不登校で苦しんでいたことを知り、「彼にも居場所があったらこの事件を防げたのではないか」と感じられたことがきっかけで、平成14年から居場所づくりに取り組まれています。

居場所は、毎週水曜日と毎月第三木曜日に開設され、元焼き鳥屋さん

だったプレハブの建物がお店です。六畳ほどの部屋の壁側にはパソコンやゲーム、中央にはこたつが置いてあり、友達の家に遊びに来たような家庭的な雰囲気がありました。三人のスタッフの方に居場所での過ごし方や関



わり方などのお話を伺ったのですが、子どもさんの自主性を重視して、誰でも自由に過ごせるようにとあたたかい配慮をされていることがわかりました。

たくさんのお話を学ぶことができましたので、参考にさせていただきます。これから、居場所づくりを進めていきます。

## 最近えがおになった出来事を教えてください!

# 今月のえがお



くるみ  
新井 胡桃さん

いつも一緒にいるメンバー5人で、休み時間や放課後にお話をするのがとっても楽しいです★面白い話をしたり、恋バナをしたり、、、心みんなといると、いつの間にか笑顔になっています!!!



ざいつ あきら  
財津 彰さん

山田地区にある梅林公園で、沢山の出会いがありました。花が見頃の2月から3月にかけては、色々な地域の人公園に遊びに来ます。美しく咲いた梅の花の下、新たに出会った方々といろいろな話で盛り上がりました!



みやもと だいすけ まつもと じゅんき  
宮本 大輔くん 松本 純希くん

2人は親友同士です。いつも、なんでもないことで笑い合い、楽しく過ごしています。

新学期になり、お互いにこれまで以上に気合を入れて、勉強と部活を頑張りたいと思います!

## 今月のご案内

### ★在宅介護者の集い★

在宅で介護をされている方々が、いろいろな情報交換をし、楽しくリフレッシュしています。

4月10日(木) 13時～15時  
寄ってこハウスにて  
(漆生878番地)

5月8日(木) 13時～15時  
山田ふれあいハウスにて  
(上山田502番地6)

### ★ひきこもり家族の集い★

ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろいろな悩みを話したり、情報交換をしています。

4月24日(木) 13時～15時  
5月29日(木)

### ★おしゃべりサロン★

～アレルギー勉強会～

子育て中のお母さん、子どもたちが楽しい時間を過ごしています♪

4月28日(月) 10時30分～12時

### ★かまっぴ編集会議★

ママの目線でつくる子育て情報紙『こども目線♡かまっぴ♡』を、みんなで楽しく編集しています。今回は18号を作ります。

5月7日(水) 10時～12時  
5月12日(月)  
5月19日(月)

※ひきこもり家族の集い、おしゃべりサロン、かまっぴ編集会議の場所は、いずれも寄ってこハウスです。

## 市民のみなさんと共に 福祉のまちづくりを

### 平成26年度の社協会員を募集します

嘉麻市社会福祉協議会は、今年度も市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくために、会員を募集します。

みなさんから納めていただく会員会費は、本会の地域福祉活動や、新たな福祉課題に対応するための事業等の財源として活用させていただきます。会員は、年間を通じて募集しておりますので、ぜひご加入いただき、福祉のまちづくりにご参加ください。

#### 会員の種別は一

個人会員 1□1,000円  
法人・団体 1□1,000円

#### 入会の方法は一

- ①社協窓口にお越しただける方・・・  
窓口で入会申込書をご記入いただき、今年度分の会費をお支払いいただきます。
- ②集金をご希望される方・・・  
社協までご連絡をお願いします。地区によって集金方法が違いますので、ご案内いたします。
- ③市外の方・・・  
氏名、住所、連絡先を記入の上、現金書留もしくは郵便小為替で本会まで郵送ください。

【お問い合わせ先】 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751 Email:tiiki@kama.syakyo.com

## Q&A 「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

### ●●●●● 問題 ●●●●●

大隈小学校体育館で開催されたメモリアルイベントで、児童全員の手形で作ったのは何でしょうか。  
(1)リンゴの木 (2)桜の木 (3)クスノキ

● 応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、4月30日(必着)までにハガキ、またはEメール(こま)応募ください。  
● 送付先 〒820-0205  
嘉麻市岩崎1143番地3  
嘉麻市社会福祉協議会  
E-mail:tiiki@kama.syakyo.com

● 前号のクイズの答え (2)  
地域福祉権利擁護事業を利用できるのは、おおむね65歳以上の高齢者でした。  
● 応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。  
・各地区の事が分かりやすく、情報も多いので欠かさず読んで参考になっています。  
・『今月の一冊』で紹介された本を読みたいです。『炭鉱の記憶』では、父が炭鉱マンだったので、仕繰、堀進、採炭など、なつかしい言葉です。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

## 自主防災活動について学ぶ



被災者カードを配置しながら、図上で避難所を運営していききました。

3月9日(日)、飯塚市の筑豊ハイツで、福岡県主催による自主防災組織ブロック別研修会が開催され、職員2名が参加しました。

最初に、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県宮古市田老町で自治会役員として避難所の運営に携わった山崎弘さんから、発生時の状況や、事前の準備が大切であることなど運営を通して感じたことをお話しいただきました。

その後、3つのグループに分かれて、HUG(避難所運営ゲーム)という図上訓練を行いました。これは様々な想定 of 被災者カードを避難所に配置しながら、次々と起こる事象(イベントカード)への対処を考えていくものです。

例えば、認知症のある方、ペット同伴の方、持病のある方をどのように受け入れるのか、マスクへの対応や支援

講師の一般社団法人九州防災パートナーズの藤澤健児さんは、「HUGでの気づきを地域に持ち帰って、それぞれの自主防災活動に役立てて欲しい」と今後の活動に期待を寄せていました。今後、嘉麻市においてもこのような訓練を行うことで、自主防災活動について、皆さんと共に進めていきたいと考えています。

物資をどうするかなど、実際に起こりうる様々な場面が250パターン準備されていて、それをグループで話し合いながら、図上で避難所を運営していききました。

振り返りでは、予め基本的なルールを決めておくべき、避難所に指定されている場所には備蓄しておく必要性を感じた、被災者の感情に寄り添う姿勢を忘れてはいけないなど、様々な気づきが出されていました。



全体の振り返りでは、たくさんの気づきが発表されました。

## ボランティア募集

### 水泳ボランティアの募集

ふあん・ファン・fun では、障がいのある子どもたちと一緒にプールに入り、水中でのレクリエーションの補助をしていただける方を募集しています。

- 日時 ①平成 26 年 4 月 19 日(土)  
②平成 26 年 5 月 17 日(土)  
10 時 15 分～ 12 時 30 分
- 場所 山田サルビアパーク(嘉麻市上山田 352)
- 活動内容 水中レクリエーション、リズム遊びの補助  
※初めての方も安心して活動できるよう、指導者がサポートします。
- 募集締切 ①平成 26 年 4 月 11 日(金)  
②平成 26 年 5 月 9 日(金)
- 備考 水着、タオル、水泳帽子をご用意ください。  
活動後は軽食を準備します。  
興味のある方は見学もできます。

### レクリエーションのお手伝い募集

施設入居者やデイサービスの利用者をサポートしていただけるボランティアを募集しています。

- 日時 月曜日～土曜日の 9 時～ 16 時  
※可能な日時で構いません。
- 場所 ・介護老人保健施設シルバーケア嘉穂(嘉麻市鴨生 480 番地 1)  
・グループホーム嘉穂(嘉麻市鴨生 476 番地 6)  
・グループホーム鴨生の里(嘉麻市鴨生 693 番地 1)
- 内容 レクリエーションの補助や利用者の話し相手など
- 備考 当日は、動きやすい服装とエプロンをご準備ください。

## 5月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。

### 法律相談

とき: 5月1日 (木)  
13:00~16:00  
ところ: 山田ふれあいハウス

とき: 5月15日 (木)  
13:00~16:00  
ところ: 稲築住民センター

### 心配ごと相談

とき: 5月14日 (水)  
13:00~15:00  
ところ: 稲築住民センター

とき: 5月28日 (水)  
13:00~15:00  
ところ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会  
☎0948-42-0751

この本は、脳科学者の茂木健一郎氏とNPO法人北九州ホームレス支援機構の理事長の奥田知志氏の対談集です。  
本の中で奥田氏は、現代社会について、『助けて』と言っているといけないという倫理観が強

く働いていて、個人に責任を負わせることによって、社会の無責任化が進んでいると主張されています。  
生活困窮者の支援においても、困窮状態に陥った原因やそこから脱することもすべてその人本人の責任だということのような風潮があることに触れています。そして、本当の意味で自己責任を果たすには社会や周囲の支援、社会保障などがきちんと行われることが前提だと訴えられています。  
また、困窮者支援は、支援者自身が自分の弱さを認識したうえで、共に生きるということが大切であることなど、基本的な姿勢を見つめ直すきっかけにもなった一冊でした。  
(竹川)

「助けて」と言える国へ

人と社会をつなぐ



著者 / 奥田知志  
茂木健一郎  
出版社 / 集英社新書

# 今月の一冊

No. 85

## 炭鉦の記憶

この写真は、三井山野炭鉦の第二竪坑線込場です。線込場とは、作業の役割を決めたり、点呼をとったりして、入坑の準備をしていた場所です。壁には、「ほあん」や「炭車がびつしりと並んでいて、重大な事故につながるかもしれない」と緊張する場であったことがわかります。



知らない言葉があったので、同炭鉦に勤務していた石井利夫さんに話を伺いました。  
「天井しらべ」とは、掘り進みながら天井をトントンたたき、落盤の危険性はないかを音で調べるのだそうです。また、「岩粉散布」とは、坑内での炭じん爆発をふせぐために火の力を弱める効果がある岩粉をまくことだそうです。どれも大切な作業だったようです。  
このように、一つひとつの言葉から、日頃どんなことに気を付けておられたのかなど当時の様子を知ることができました。  
作業を終えて通る線込場は、我慢していた煙草を吸うことができる場でもあり、ほっと一息をつく憩いの場でもあったため、入坑時とは違う気持ちでこの書写を眺められていたそうです。

炭鉦時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。  
TEL 0948 (42) 0751

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり理事会を開催しました。

第44回理事会 《開催日》平成26年2月26日（水）

【議案第125号】 任期満了に伴う評議員の選任について

【議案第126号】 デイサービスよかこの家事業の廃止について

第30回評議員会 《開催日》平成26年3月5日（水）

【議案第56号】 理事の補欠選任について

## 山田ふれあいハウスからのお知らせ

### 子育て用品リユースセンター移転のお知らせ

子育て用品リユースセンターが、山田ふれあいハウスに移転しました。土日、祝日も開いていますので、ぜひお立ち寄りください。



階段を上がって2階の部屋です。

**移転先** 山田ふれあいハウス 2階

**住所** 嘉麻市上山田502番地6

**TEL** 0948-52-1847

**開設日** 月曜日～日曜日

**時間** 午前9時～午後5時

お盆（8月13日～15日）及び、  
年末年始（12月28日～1月4日）は  
お休みです。

お立ち寄りの際は、1階事務所にお声かけください。ご案内します。



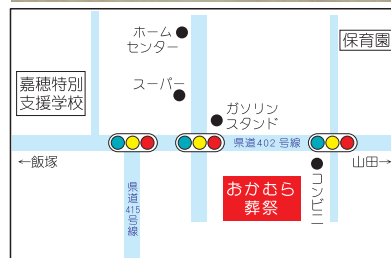
## おかむら葬祭 岡村会館

嘉麻市平 1133  
☎42-4420

## 指定葬祭場紹介

平素より地域の方々にご利用いただき、感謝申し上げます。  
今後も地域に根付いた葬祭場として、微力ながらもお役に立てますよう、社員一同知識とサービスの向上に精進して参ります。  
葬儀についてご不明な点などございましたら、お気軽にご来館、お問い合わせください。

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、おかむら葬祭 岡村会館を含め、市内に8カ所あります。

飛鳥会館 南斎場・・・☎(0120)42-2241  
ひさつね会館・・・☎52-0758  
セレモニーホールおおつか・・・☎52-1212  
善光会館 稲築会場・・・☎83-5000

きど葬祭やまさ碓井斎場・・・☎62-4499  
いすや会館・・・☎57-4444  
かほ葬祭 あじさい会館・・・☎62-5566



みなさまの善意、心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

2月1日～2月28日受付分

●香典返し

【漆生本村】	親族 中山省三様	故 中山ヨシ子様	【東岩崎】	親族 久保エリ子様	故 久保善則様	【上臼井下】	親族 武喜志夫様	故 武田スミ子様	【下臼井西】	親族 坂本幹男様	故 坂本美義様	【尾浦第一】	親族 安藤久江様	故 安藤久寿男様	【天神】	親族 岡猪之輔様	故 岡村美代子様	親族 鎌田ヨリ子様	故 鎌田實様	【下宮】	親族 廣谷マリ子様	故 廣谷シゲコ様	【木城】	親族 高熊絹恵様	故 高熊直様	【猪之鼻】	親族 熊谷征二様	故 熊谷キミエ様
【さくらが丘】	親族 高浜こずえ様	故 山崎義和様	【山下】	親族 山辺敏郎様	故 山辺富美子様	【古河】	親族 松熊榮孝様	故 松熊榮子様	【下牛隈】	親族 秋吉孝則様	故 井上隆實様	【千手】	親族 久保山峰子様	故 久保山敏己様	【西馬見】	親族 井上しのぶ様	故 井上ヒサエ様	【桑野】	親族 大里美智代様	故 大里トシコ様	【一般寄附】	嘉穂の名水愛好者一同様	財団法人 嘉麻市文化スポーツ振興公社様	大相撲筑豊いづか場所実行委員会様	【子育てリユース】	口春永富明子様	鴨生第一大和享子様	熊本中島瞳様

碓井千歳会館の指定管理者として、嘉麻市社会福祉協議会が管理を行ってまいりましたが、平成26年3月31日をもって、終了することになりました。

4月1日以降につきましては、下記の受付が、稲築住民センターとなりますので、お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

記

香典返し・初盆返し  
一般寄附・物品寄附  
アルミ缶・社協会員加入  
その他相談

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会  
嘉麻市岩崎1143番地3稲築住民センター  
☎ 0948-42-0751

【アルミ缶】	三日町 石井美由紀様	漆生南部 西田幸子様	東岩崎 松岡光様	枝坂 久家奈緒美様	飯田 匿名様	熊本 中島政美様	熊本 中嶋久光様	天神 島田睦男様	中央 明石睦則様	中央 稲葉幸作様	立石 矢野千恵様	上西郷 山口春雄様	九郎原 匿名様	嘉麻市商工会 嘉麻市身体障害者 福祉協会嘉穂支部 吉田 名様	【リングブル】	漆生本村 匿名様	漆生中央 田中茶舗様	【アルミ】	古河 塚原京子様	【古切手】	鴨生北町 中須サカエ様	九郎原 匿名様	鴨生第一地域福祉部 教育ナビゲーション㈱ 吉田 塚原京子様	【アルミ】	古河 塚原京子様
--------	------------	------------	----------	-----------	--------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	---------	--------------------------------	---------	----------	------------	-------	----------	-------	-------------	---------	-------------------------------	-------	----------

あなたの会費が、社協の地域活動を支えています

会員として、次の方々にご加入いただきました。  
(敬称を省略させていただきます)

2月1日～2月28日受付分

- 〈漆生中央〉匿名(二口)
- 〈東岩崎〉嶋田眞知子、松岡俊子
- 〈樋渡〉牧口輝代
- 〈鴨生第二〉岩本ひとみ
- 〈銭代坊〉銭代坊行政区(五十口)
- 〈鴨生北町〉梅木信吉、岩井弘子、羽野喜代子(二口)、長田清乃、梅永昭江、中須サカエ
- 〈尾浦第一〉友添正利
- 〈上午隈〉中島由美
- 〈西馬見〉縄田和之、縄田由紀子
- 〈桑野〉渡辺つ子
- 〈中山田上〉吉塚仁(三口)



ふる里 それは

文明の発達ふる里への時間を短くした。然し思い出は遙か彼方にある。私は稲築町漆生に生まれ、高校まで育った。里を離れ六十余年が経過した。鳥羽一郎の新曲「晩秋歌」を耳にする。「遠賀土手行きや雁が啼く気がつきや川筋男ぶし」。子ども

の時に遊んだ野山が浮かぶ。藤の花の咲く頃、お籠りと称して隣組の家族がそれぞれ御酒や料理を持参して、豊前坊山に登り交友を温めた。今では考えられない、のどかな時の流れであった。山の頂上には五本の天に聳える松の木があった。戦中に松根油採取で幹に傷をつければ、やがて枯れ果てた。馬見三郡の連山を眺める絶景の地で、その少し手前の小高い山で小さな紫色した木の実ミソソチヨを食べた。その実が現在のブルーベリーの一種と知って驚いた。



兵庫県宝塚市在住 松本 俊明さん (82歳) 漆生出身

た。冬の雪の日など降りて暖をとって遊んだ。今考えると古代人が使用した洞窟であったかもしれない。極近くで沢山の土器が出土した。五本松の山頂からの景色は素晴らしく、近くの集落の呼び名に沖出、浦の谷、崎が鼻があり、祖母の話では鮭が川を上ってくるのを橋の上から覗いたという。そして大隈には鮭神社の存在。この地は、洞海湾が深く深く入りこんでいたのではないかと勝手に想像して楽しい。

戦後日本経済発展に伴い、ふる里は大変貌した。あの象徴的なボタ山、石炭を運んだ国鉄の線路も消え、汚れた遠賀川の水がきれいになった。これ程短時間に激変したふる里があるだろうか。ふる里、それは限りなく心を癒す思いのある宝庫だ。「覚えたくもりもない歌が酔いのまにまにこぼれ出すあああ、男あああ、男晩秋歌」。

★ 編集後記 ★



不登校の親の会が運営している居場所「ハッピーパーク」を見学しました。名前の由来は、高い山に登る途中の小休止だそうで、そこには子どもたちが安心してのびのび過ごせる空間が広がっていました。本市にもそんな居場所を作りたいとの思いを強くしました。(きはら)



閉校前の干手小学校の卒業式の練習では、校歌やけやきの歌、お別れの言葉の呼びかけなど、みなさんが一生懸命声を出している姿がとても心に残っています。最後の卒業式ということで、私も思わずウルウル、感動しました。たくさんの方に出会える嘉穂小学校も楽しみです。(みぞくち)



鴨生北町サロンには、3回にわたって、取材に伺いました。会場内はいつも笑い声が聞かれ、毎回温かく受け入れてくださいました。そこにいてだけでホッと安心できるようなあたたかみがあり、居心地の良さを感じるサロンでした。(たけがわ)



表紙の撮影で、宮野小学校の卒業式の練習におじゃました。朝早くからの練習にも関わらず、児童のみなさんは、体育館中に響くような大きな声で校歌を斉唱されていました。本番に向け、真剣な表情で練習に励む姿に、私も身が引き締まる思いでした。(かわかみ)



4ページにある『今月のえがお』で、稲築志耕館高校の生徒に話を伺いました。学校での出来事を楽しそうに話してくれて、若い子のパワーをたくさんもらいました!!! 私の中では、つい最近まであの制服を着ていたのに、(\*/\*)いつの間にか4年も経ってしまい、とても懐かしいです♪今度、休みの日にでも母校に遊びに行こうと思います★(しろがね)

編集後記を書いている本会職員の見顔絵も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。

コトバの交差点 学校統合と 小学校時代の思い出

旧嘉穂町の小学校(大隈・宮野・足白・泉河内・干手)五校の閉校式が、平成二十六年三月までに各小学校で盛大に挙行された。大勢の住民が参集して、歴史と伝統ある母校との別離を惜しみながらも、新しい「嘉穂小学校」への大きな期待に胸をふくらませた。

母校の「閉校記念誌」には、それらの思いがぎっしりとつまっている。昭和十一年四月に、大隈尋常高等小学校へ入学して、太平洋戦争が勃発した翌年の昭和十七年三月に国民学校初等科を修了した六カ年

間は、戦争への足音が次第に強くなっていったことを、子ども心に知る由もなかった。

校門の桜吹雪を浴びて、木造校舎の並ぶ教室から渡り廊下の整列板を踏みながら、トンネルをくぐり、講堂の入学式に臨んだ。当時は、今の運動場に校舎が並んでいて、現在の校舎のある役場側に講堂があり、運動場が広がっていた。講堂は体育館とは違い、儀式や学芸会などの場として多目的に利用されていた。

トンネル部分は校門からの坂道なので、冬の積雪を待って、滑り降りる楽しい遊び場だった。校内は、さまざまな樹木にかまれている、藤見会のあった藤棚は今も健在である。山桃や大

木の楠は学校のシンボルである。

観察池の横に、太陽灯室が新築されていた。当時久恒炭鉱株式会社の社長であった久恒貞雄氏の寄贈によるもので、一年生の頃は、体質の弱い子が入室していた。私もその一人であった。教室は、理科室・工作室・裁縫室・郷土館・小さな図書館など充実していた。学級は、男女別で編成され、人数の調整がとれない時は、男女組のクラスがあった。通学は、殆どが下駄履で、教室や運動場では、はだしだった。思い出は尽きない。

未来に生きる子どもたちの幸せを祈る。「嘉穂小学校に、栄光あれ」 (中益 豊福英之)